

11月16日(日)

● 1 vs 5 ○YMCA

(前半 1-1)

11分、YMCAのトップ「10番」にミドルシュートを決められ先制されました。

小松島は15分、トップのGinjiが中央から右に開いたところへ、右MF・Kazukiからのパスが入りました。受けたGinjiは縦への突破を試み、そしてペナルティエリアに進入。そこで相手DFに倒されPKを得ました。これをRinrinが落ち着いて決め同点にしました。

(後半 0-4)

YMCAはボールを奪うと全て「10番」につなぐ戦術を徹底してきました。そして、残念ながら試合は終始YMCAのペースでした。「10番」にボールが繋がると必ずシュートまでもっていかれるので、如何にボールを入れさせないかが戦いの焦点だったと思います。

しかし、中盤でなかなかボールを奪うことは出来ず、「10番」の裏への抜け出しで2点、小松島DF2名がかわされて2点と、計5失点の全てが「10番」一人に決められました。

それでも小松島のトップ・Ginji、MF・Kazuki、同・Rinrin、同・Ryuseiはディフェンスも頑張っていましたし、GK・Takachanはスーパーセーブをしていました。

DF・Yurshi、同 Genchan、同 Tatsuchanも頑張りましたが、それ以上に相手がスピード・パワー、テクニックのいずれも上回っていました。

● 1 vs 6 ○愛子

(前半 0-3)

常にボールを支配され、チャンスらしいところも無く3失点。愛子は攻守の切替えが早く、個人で崩されることはありませんでしたが、セカンドボールをことごとく拾われ押し込まれました。

(後半 1-3)

後半早々に失点したところで、Tatsuchanを1トップに据えました。中盤は左からRinrin、Ginji、Kazukiにし、ディフェンスは同Ryusei、Genchan、Kortaに変更。Tatsuchanのハイプレッシャーに愛子のパスが乱れ、Tatsuchan自身がボールを奪う場面が増えてきました。

小松島に段々リズムが出始めた13分、Genchanがボールを奪って縦パスを入れました。これにTatsuchanが巧く反応して抜け出し、そしていつものごとくキーパーまでかわして1点を奪いました。

しかし、愛子は乱れることはありませんでした。前半同様にセカンドボールを拾われて2失点しました。

小松島にもチャンスは前・後半、何度かありましたが、攻撃陣のGinjiをはじめ愛子の「5番」にことごとく止められました。

小松島の子供たちは失点しても決して下を向くことは無く、諦めずに頑張りました。

しかし、正直に言って力の差を感じた2試合でした。

by Yoneya